

運動の楽しさにふれ、技能が身につく

「楽しさ」と「技能」の両立！

ここがポイント！

運動の特性（楽しさ）と運動の魅力（動きや技能，ゲームのおもしろさ）にふれることで，子どもたちがすすんで技能を習得できます！

運動って、
楽しいな！



ハードルをとんだり、
ゲームでかけひきした
りするって、こんなに
おもしろいんだ！



特性

運動の楽しさ

- 相手に勝つ楽しさ（競争）
- 記録をのばす楽しさ（達成）
- できるようになる楽しさ（克服）
- なりきって踊る楽しさ（模倣）

魅力

動きやゲームの おもしろさ

- リズミカルにハードルをとびこすおもしろさ
 - 相手をおかし、シュートすることができるかどうかの攻防のおもしろさ
 - とび箱に手をつけてとびこし、着地できるかどうかのおもしろさ
- など

なんのための「技能」なのか？ 子どもたちが技能の必要性を理解したうえで，すすんで技能を身につけることができる！

学習過程

やってみる

ひろげる

ふかめる

やってみる

ひろげる

ふかめる

ここが
ポイント!

子どもが主体的に「どんな段階をふんで」「どんな学習をしたらよいか」、子ども自身にわかりやすい言葉で示しています！

はじめにやさしく工夫した運動内容を提示！

「動きや技能、ゲームのおもしろさ」にふれさせつつ、「楽しさ」を味わわせていきます。

習得

やってみる

教師が提示するやさしい動きや運動の行い方を体験する。

「ひろげる」活動が「やってみる」活動の行い方の理解と習得を促進する。それぞれの活動が相互作用し合います。実際に活動を行き来することも可能です。

探究

ふかめる

願いやこだわりを膨らませたり、それをみんなで共有したりする。

思考力
判断力
表現力
を育成

活用

ひろげる

理解したことを広げたり、アイデアを出し合ったりする。

運動、大好き！

生涯にわたって運動に親しむ**資質や能力**の基礎を育てる！